



各位

会社名 マーチャント・バンカーズ株式会社  
代表取締役社長兼 CEO 高崎 正年  
(コード 3121 東証スタンダード)  
問合せ先 取締役 CFO 兼財務経理部長 山崎佳奈子  
(TEL 03-6434-5540)

## 当上半期業績予想と実績値との差異に関するお知らせ

当社は、本日公表いたします2024年10月期の上半期連結業績実績値につきまして、2023年12月14日に公表しました業績予想数値と差異が生じますので、下記のとおりご報告申し上げます。

### 記

#### 1. 2024年10月期上半期業績予想数値と実績値との差異 (2023年11月1日～2024年4月30日)

##### (1) 差異の内容

	売上高 百万円	営業利益 百万円	経常利益 百万円	親会社株主に帰属 する当期純利益 百万円	1株当たり 当期純利益 円 銭
前回発表予想(A)	1,550	280	180	120	4円10銭
今回実績(B)	1,418	15	△72	13	0円46銭
増減額(B-A)	△132	△265	△252	△107	
増減率	△8.5%	△94.6%	—	△89.2%	

##### (2) 差異の理由

当社は、保有物件の売却により利益を確保しながら、積極的に新規物件取得を行い、安定的収益源としての家賃収入の拡大をはかっております。

当上半期におきましては、1物件の売却により、売上高760百万円を確保するとともに、7物件(4,480百万円)の取得により、取得経費167百万円を計上いたしました。

また、子会社株式会社ケンテンの売却により、特別利益90百万円を計上いたしました。

業績予想公表時(2023年12月14日)には、当上半期は、2物件売却により売上高850百万円、営業利益230百万円を確保し、6物件の取得経費126百万円を負担の上、営業利益280百万円を確保する予定でしたが、

- ① 物件売却益 130百万円
- ② 物件取得経費 41百万円
- ③ 経費増加 30百万円(第三者委員会実施等)
- ④ 解散又は売却した子会社の予算未達 25百万円

などにより、営業利益で265百万円、経常利益で252百万円の未達となりました。

親会社株主に帰属する当期純利益につきましては、子会社株式会社ケンテンの売却益90百万円を特別利益に計上したため、107百万円の未達となりました。

なお、オペレーション事業におきましては、2024年10月期通期で売上高120百万円(うち上半期60百万円)、セグメント利益15百万円(うち上半期8百万円)を見込んでおりましたが、オペレーション事業からの撤退(2024年4月22日公表)に伴い、上半期実績は、売上高46百万円、セグメント利益0百万円、下半期は、売上高・セグメント利益とも、見込めなくなりました。下半期、土岐グラウンドボウルの家賃収入(7百万円)は、マーチャント・バンキング事業の収益に貢献いたします。

2024年6月に大阪市生野区物件の売却を予定（2024年6月10日開示）しておりますが、下半期3物件以上の売却により、通期業績予想の達成に努めてまいります。物件売却につきましては、正式決定の都度、公表させていただきます。

以 上